

あわらし行政評価外部評価委員会

日時 令和6年9月25日(水) 13:30～

場所 あわらし役所 203会議室

会 議 次 第

1 あいさつ

2 議 事

令和6年度施策評価(令和5年度実績)について

3 その他

自然と共生していくために、自然環境の保全に努めるとともに、限りある資源とエネルギーの有効利用を図り、環境にやさしい循環型社会の構築を目指します。

また、災害に強く、犯罪や交通事故のない誰もが安全で安心して暮らせるまちづくりを推進します。

【 施策の概要 】

基本施策	施策を構成する主な事務事業
1 環境の保全	環境保全意識の啓発、環境調査・発生源対策、森林の保全・再生
2 循環型社会の構築	ごみの収集運搬、し尿・汚泥の適正な処理、5Rの推進
3 地域防災の強化	地域防災計画の習熟、消防防災・救急救助活動の運営、消防団の強化
4 安心なまちづくりの推進	防犯対策の充実・強化、交通安全対策の充実、空き家の利活用

【 施策の指標・目標の達成状況 】

施策	指標・目標		R5年度 の実績	R7年度 の目標値
	※ (↓)は、数値を下げる・抑えるべき項目を意味します。			
1	1	道路や空き地にごみなどが少なくまちが清潔だと考える市民の割合	64.5%	75.0%
	2	市民・団体の環境イベント開催数	28回	30回
	3	豊かな自然に恵まれていると考える市民の割合	89.1%	95.0%
2	4	ごみ減量化や資源リサイクルが進んでいると考える市民の割合	54.7%	75.0%
	5	市民1人1日当たりのごみ排出量 (↓)	870g	850g
	6	市民1人1日当たりの家庭ごみ排出量 (↓)	727g	700g
3	7	自主防災組織の設立数 (全132区中)	110区	120区
	8	避難拠点や自主防災組織が整備され災害に強いまちだと考える市民の割合	31.5%	40.0%
	9	防災士資格取得者数	104人	100人
4	10	犯罪が少なく安心して暮らせるまちだと考える市民の割合	79.0%	87.5%
	11	交通事故発生件数 (↓)	21件	30件
	12	消費者保護対策が充実していると考えられる市民の割合	21.5%	30.0%
	13	特定空家等の件数 (↓)	7件	8件

【 内部評価委員会の意見 】

施策	意見
1	クリーンアップ活動実施回数など令和5年度で実績を落としている事項を中心に理由を分析して、次年度以降の業務に役立てることを検討されたい。
2	今後も引き続き、ゼロカーボンシティあわらの実現に向けて取り組み、広報についても検討されたい。 また、各取組によるCO2削減量が数字で示せるよう検討されたい。
3	大規模災害が発生した際を想定したBCP（事業継続計画）をしっかりと検討されたい。 また、様々な状況を想定した情報伝達手段についても再検討されたい。
4	交通事故数や犯罪数などは警察の分野として考えられがちであるが、市として連携できる部分を検討されたい。

赤ちゃんから高齢者まで、健常な人もそうでない人も、誰もが生涯にわたって健やかに人生を過ごすために、健康、福祉、社会保障の各分野において連携のとれた施策を展開することで、いきいきと暮らすことができるまちづくりを推進します。

【 施策の概要 】

基本施策	施策を構成する主な事務事業
5 保健医療の充実	市民検診の推進と保健指導、予防接種の推進、総合的な支援体制の強化
6 健康づくり活動の実践	健康に対する意識の醸成、生活習慣病の予防、食育推進計画の推進
7 地域福祉の推進と災害支援	地域福祉活動支援事業、民生委員・児童委員との連携・支援
8 人権の尊重	男女共生社会の推進、男女平等意識の啓発
9 高齢者福祉と介護保険の充実	高齢者の生きがいと健康づくりの推進、介護予防事業の推進、フレイル予防事業の充実
10 障害者福祉の充実	障害者福祉計画の推進、障害者福祉サービスと見守り体制の充実、権利擁護体制の充実
11 児童福祉の充実	認定こども園における保育・教育サービスの充実、放課後子どもクラブの運営、あわらっこ子育て支援の充実
12 社会保障制度の充実	国民健康保険事業の運営、後期高齢者医療制度の運営、生活困窮者への支援

【 施策の指標・目標の達成状況 】

施策	指標・目標		R5年度 の実績	R7年度 の目標値
	※ (↓) は、数値を下げる・抑えるべき項目を意味します。			
5	1	特定検診受診率	34.4%	40.0%
	2	各種がん検診受診率	38.0%	40.0%
6	3	市民の健康維持・健康づくりなどへのサポートが進んでいると考える市民の割合	50.2%	60.0%
	4	朝食を食べない中学生の割合 (↓)	2.0%	0.0%
8	5	各種審議会委員に占める女性委員の割合	32.2%	40.0%
9,10	6	高齢者や障がいのある人が生活しやすいまちだと考えている人の割合	31.6%	35.0%
	7	総人口に占める要支援および要介護認定者の割合 (↓)	5.9%	6.0%
11	8	妊娠期からの相談や経済的支援などの子育て環境が充実していると考えられる市民の割合	38.7%	65.0%
	9	こども園における幼児教育が充実していると考えられる市民の割合	50.5%	65.0%
12	10	1人当たり国民健康保険医療費 (↓)	490,794円	400,000円
	11	国民健康保険税の収納率	96.6%	100.0%
	12	生活保護費保護世帯数 (↓)	115世帯	108世帯

【 内部評価委員会の意見 】

施策	意見
5	健診の受診について、受診料の見直しや利用しやすい申込方法の検討など、受診率向上に向けて工夫して取り組まれない。
6	健康づくりについて、県の事業とも連携して、継続して取り組まれない。ウォーキングイベントなど、市内の施設等を活用した実施を検討されたい。
7	民生委員の担い手が不足することが想定されるため、各地区の状況を把握し、計画的に確保対策を進められたい。
8	女性が悩みを相談しやすく、暮らしやすいまちがどのようなものかを考えながら、女性のニーズを把握し、総合的な視点で施策を検討されたい。
9	高齢者ならではの不便さがあると思われるため、そういった方にも暮らしやすいまちづくりを意識して、高齢者を総合的に支援するという視点で、施策に取り組まれない。
10	障害者が暮らしやすいまちづくりについて、些細なことでも構わないので、検討されたい。引き続き、福祉まるごと相談所による相談支援の強化を図られたい。
11	子育て支援ガイド等により、子育て支援施策の全体像の見える化を図られたい。放課後子どもクラブについても、人員が不足する中で継続していく施策を検討されたい。
12	医療費の増加を防ぐため、不要な受診を呼びかけるとともに、救急車の不要な利用を自重するよう周知されたい。

学校・家庭・地域が一体となって、心豊かでたくましい子どもたちを育てるとともに、生涯にわたって多世代が学びの心を育て、豊かな文化があふれるまちづくりを目指します。

【 施策の概要 】

基本施策	施策を構成する主な事務事業
13 学校教育の充実	確かな学力の育成、ふるさと教育の充実、特別支援教育の充実、学校給食の充実、ICT環境の整備
14 青少年の健全育成	スポーツ少年団活動への支援、少年愛護センターの運営、成人式を通じた地元意識の醸成
15 生涯学習の推進	生涯学習推進体制・地区推進体制の整備、図書館機能の充実
16 生涯スポーツの推進	スポーツ団体の育成・支援、体育施設の充実と効率的な活用
17 文化と芸術の振興	文化財の調査と保護・活用、郷土歴史資料館の管理運営、文化活動団体の支援、金津創作の森の管理運営

【 施策の指標・目標の達成状況 】

施策	指標・目標		R5年度 の実績	R7年度 の目標値
	※（↓）は、数値を下げる・抑えるべき項目を意味します。			
13	1	小・中学校の施設が充実し、学習しやすい環境が整備されていると考える市民の割合	51.4%	60.0%
14	2	スポーツ少年団児童登録率	28.6%	38.0%
15	3	公民館講座受講者数	51,582人	55,000人
	4	生涯を通じた文化活動や学習の機会が充実していると考え市民の割合	36.6%	45.0%
	5	図書館来館者数	57,991人	70,000人
16	6	手軽にスポーツに親しめる環境が整っていると考える市民の割合	39.2%	50.0%
	7	ニュースポーツ参加者総数	696人	1,200人
17	8	郷土歴史資料館入場者数	4,412人	7,000人
	9	金津創作の森美術館入場者数	121,272人	160,000人

【 内部評価委員会の意見 】

施策	意見
13	不登校や引きこもりの児童生徒が増加傾向にあるが、支援策について検討されたい。 また、学校設備についても計画的に整備されたい。
14	引き続き、青少年の健全育成等に向けた指導に取り組まれたい。 スポーツ少年団についても、習い事が多様化する中で登録数が低下するのは仕方ないものの、安全で質の高い指導に向けて取り組まれたい。
15	引き続き、図書館の新規利用者獲得に向けて取り組まれたい。 公民館講座等についても、幅広い層が受講できるよう内容を工夫して開催されたい。
16	引き続き、体育施設の利用者数が増えるよう取り組まれたい。 また、カヌーなど市として重点的に推進していくスポーツの周知を強化されたい。
17	郷土歴史資料館や創作の森について、引き続き来場者数を伸ばせるよう取り組まれたい。 来場者が観賞だけでなく、体験もできるよう検討されたい。

便利で快適な生活を送るために、上下水道や道路網、公共交通体系などを整備し、快適な住環境を備えた住みやすいまちづくりを推進します。

【 施策の概要 】

基本施策	施策を構成する主な事務事業
18 土地利用の適正化	計画的な土地利用の推進、地籍調査の推進
19 道路交通網の整備	国道の整備促進、市道・橋りょうの改良、道の駅の整備と運営
20 新幹線開業に向けたまちづくり	北陸新幹線の整備促進、芦原温泉駅周辺の整備、並行在来線への対応
21 機能的なまちの整備と景観への配慮	都市公園・緑地の良好な管理、市民・事業者との連携による景観活動の推進、デマンド方式による公共交通の運行
22 上水道事業の運営	水道施設の維持管理と運営、水道施設の計画的な更新
23 下水道事業の運営	公共下水道の維持管理と運営、下水道の整備促進

【 施策の指標・目標の達成状況 】

施策	指標・目標		R5年度 の実績	R7年度 の目標値
	※ (↓) は、数値を下げる・抑えるべき項目を意味します。			
19	1	道路が効率的・効果的に整備されていると考える市民の割合	33.1%	50.0%
	2	都市計画道路の整備率	57.5%	62.0%
21	3	公共交通機関が効果的に運行されていると考える市民の割合	24.6%	30.0%
	4	景観に配慮したまち並み整備が行われていると考える市民の割合	24.6%	30.0%
22	5	安全でおいしい水が供給されていると考える市民の割合	81.5%	85.0%
23	6	計画区域内公共下水道接続率	94.9%	95.0%
	7	下水道使用料収納率	99.5%	100.0%

【 内部評価委員会の意見 】

施策	意見
18	次期都市計画マスタープランの改定に向け、作業を着実に進められたい。
19	消雪設備について、必要な場所を検討の上、今後も継続して整備されたい。
20	駅周辺整備について、周遊施設含めて再度検討し、引き続き魅力向上に取り組まれたい。
21	まちづくりの景観に関して、観光ビジョンの考えに基づき、残す部分となくす部分を計画的に進められたい。 主要道路を中心にガードレールなどの付属施設を更新し、より良い景観となるよう検討されたい。
22	引き続き、包括民営化に向けて取り組むとともに、水道施設等の耐震化について検討されたい。
23	引き続き、下水道接続率の向上に取り組むとともに、下水道施設等の耐震化について検討されたい。

福井県でもトップレベルの製造業を中心とした産業をさらに発展させるとともに、福井県随一の温泉観光地「あわら温泉」を中心ににぎわいと活力あるまちづくりを推進します。

【 施策の概要 】

基本施策	施策を構成する主な事務事業
24 観光の振興	国際的な観光まちづくりの推進、広域観光の推進、インバウンド誘客の推進
25 農業の振興	農地の適正管理、担い手の育成と支援、スマート農業への支援
26 林業の振興	林道の整備と管理、経営体制の強化
27 水産業の振興	水産業の振興、水産物の認知度向上
28 工業の振興	企業や事業者のニーズ把握、企業立地の促進
29 商業・サービス業の振興	地域ブランド化への支援、中心市街地の活性化、資金調達の円滑化と人材育成支援
30 雇用環境の充実	働きやすい環境づくり、勤労者福祉の向上
31 交流の推進	姉妹都市交流の推進、世界を視野に入れた人材の育成

【 施策の指標・目標の達成状況 】

施策	指標・目標		R5年度 の実績	R7年度 の目標値
	※ (↓)は、数値を下げる・抑えるべき項目を意味します。			
24	1	観光入込客数	1,868,900人	220万人
	2	宿泊観光客数	615,800人	100万人
	3	外国人宿泊客数	11,278人	5万人
	4	観光地としての魅力があると考える市民の割合	31.3%	40.0%
25	5	坂井北部丘陵地の耕作率	74.4%	73.0%
	6	学校給食における地元食材の使用率	57.5%	70.0%
	7	新規就農者数（市の認定による） ※直近5か年の累計	14人	15人
	8	担い手の農地集積率	77.2%	76.0%
28	9	年間製造品出荷額	-	2,020億円
29	10	日用品などの買い物がしやすいと考える市民の割合	56.5%	65.0%
30	11	働きやすい環境が整っていると考える市民の割合	36.0%	50.0%

【 内部評価委員会の意見 】

施策	意見
24	観光まちづくりビジョンが策定されたので、それに基づいた観光施策に取り組まれない。 観賞だけでなく観光客の体験も重視しながら、インバウンド等の各観光施策に取り組まれない。
25	農業従事者について後継者不足に悩まされる中で、どのようにして産業を継続させていくか対策を検討されたい。 園芸カレッジを卒業した後の出口戦略についても検討されたい。
26	引き続き、坂井森林組合の状況を把握しながら、長期的に事業が継続できるよう林業施策を着実に進められたい。
27	観光施策と併せて実施することで、北潟湖の魅力向上を図り、ブルーツーリズムとしての取組を検討されたい。
28	企業への支援制度等について、事業者が利用しやすい制度を検討されたい。 工業団地造成についても、市としての方向性を明確にして、計画的に進められたい。
29	駅前の a キューブの利活用について、有名店の出店条件を調査するなど、活用方法を検討されたい。 引き続き、空き店舗情報バンクを利用し、空き店舗の解消についても進められたい。
30	引き続き、福井銀行との連携事業を活用するなどして、学生に地元企業を紹介する機会を設け、若者の地元就職に取り組まれない。
31	外国人人口も今後増えていくと思われるので、市内の外国人との交流機会を増やす施策を増やすことを検討されたい。

地域の主体性が求められる地方分権社会を迎え、自立した自治運営を可能とする強固で信頼される行財政基盤の確立を目指します。

そして、市民と行政が互いに自治意識を持ち、共動による市民主体のまちづくりを推進します。

【 施策の概要 】

基本施策	施策を構成する主な事務事業
32 市民主役のまちづくり	まちづくり活動への支援、市民の参画機会の充実
33 情報化の推進	電算処理システムの運用、個人番号カード（マイナンバーカード）の普及と利活用
34 人口減少対策	移住者支援の充実、出会いから成婚までの支援
35 持続可能な行財政の運営	多様な働き方の推進、ICT などの積極的な活用、ふるさと納税などの活用

【 施策の指標・目標の達成状況 】

施策	指標・目標		R5 年度 の実績	R7 年度 の目標値
	※ （↓）は、数値を下げる・抑えるべき項目を意味します。			
32	1	市民の声が市政に届き、市民参画の機会が充実していると考える市民の割合	15.0%	25.0%
	2	行政情報が分かりやすく公開されていると考える市民の割合	48.9%	55.0%
	3	ホームページアクセス数（1日平均）	1,205件	1,200件
34	4	UIJ ターンの移住者数（県およびあわら市の移住施策による）	91人	100人
	5	合計特殊出生率（15歳から49歳までの年齢別出生率の合計）	1.39	1.63
35	6	実質公債費率（↓）	7.3%	7.2%
	7	市税収納率（現年度分）	99.5%	100.0%
	8	将来負担比率	23.6%	60.0%

【 内部評価委員会の意見 】

施策	意見
32	<p>市民参画の機会が充実しているまちづくりの在り方について、検討することが重要である。</p> <p>特に若者などの普段から市政にあまり声が届いていない世代の声を拾い上げる施策を検討されたい。</p>
33	<p>DXの推進について様々な取組を行っているが、その活動が市民に見えるように情報の周知に努められたい。</p>
34	<p>この事項については、全庁的に関連してくるものである。</p> <p>過去や他自治体のデータを把握し、市としての現状を再確認しながら、必要な施策を検討されたい。</p>
35	<p>歳入の確保として、引き続き、ふるさと納税額増加に取り組まれたい。</p> <p>行政の業務量が増加する中、事業のスクラップ化についても仕組みづくりを検討されたい。</p>